

かさい夏っ彩夢フェスタについて



黒田 秀一
(清風会・誠真会)

問 かさい夏っ彩夢フェスタについて、来年もフラワーセンターでされるのか。反省会での意見はどうか。

答 実行委員会の意見として、開催場所については、これまでの長い歴史のある市役所周辺という意見、フラワーセンターが来年限りリニューアルされることから継続して開催したらどうかという意見、フラワーセンターを中心にアスティアかさい等の別会場も視野に入れた案など、さまざまな意見が出ています。

防災について

問 ゲリラ豪雨や台風の上陸等、気象状況が大きく変わってきているように思う。台風12号では、加西でも多大な被害が出た。旧北条町は昔のままの側溝で改善がなされていない。中国道から手前川までの溝は、すべて手前川の方へ流れるようになっており、手前川が氾濫した場合、排水ができない。御旅通りか南町通りに、ボックスカルバートを設置し、手前川が一杯になれば下里川へ抜く方法は考えられないのか。

答 台風12号による北条市街地での被害は、短時間に降った雨の量が側溝や排水路等の処理能力を超えていたために発生した内水氾濫を原因の一つと考えています。北条中心地の道路側溝等について、断面の小さな暗渠等、部分

的ではありませんが改修を実施したいと考えています。

手前川へ流れる量が一定量を超えると、下里川へ分流する分水溝を設けており、大雨が降ったときには下里川へ幾らかの分流ができるようになってきています。雨水対策としてボックスカルバートを入れるということもいい方法と考えており、他部局と検討したいと思えます。

■その他の質問項目

- ・北条節句祭り、北条の宿はくらんかい
- ・鶉野飛行場跡の戦争遺産
- ・誰もがみんな元気で安心して暮らせる加西
- ・防犯
- ・宇仁小学校の改築計画

有害鳥獣対策について



衣笠 利則
(21 政会)

問 市民の声として、鳥獣被害の声が大きく上げられているが、近年の被害状況は。国・県への予算要求は十分か。防護柵は適正なものか。対策方法は、地元と話し合い現状に合ったものになっているのか。今後の取り組み、計画は。

答 平成23年度の被害面積は18ヘクタール、共済による支払金額は293万7,000円で、被害が多い地域は、西在田、富田地区です。防護柵は金網柵、電気柵合わせて約54キロメートルの設置を行っています。地元の要望は非常に強く、県を通じて要望はしていますが、十分こたえられていないのが現状です。今

後、引き続き強く補助の充実を求めていきたいと考えています。抜本的な対策は見つかっていないのが現状です。防護柵で防ぐことも完璧ではなく、猟友会に協力をいただいで捕獲拡大に努めたいと考えています。

問 猪、鹿を何頭獲ったという問題ではなく、いかに被害を少なくするかという問題だと思うが、その点を議論されていないのではないか。

答 被害を少なくする方法は、ハード面で入ってこないようにして自衛することに尽きるのではないかと思います。猟友会の皆さんにも協力いただき、金網柵や電気柵の継続的なメンテナンスも必要ですので、農家の皆さんにお願いしたいと思えます。行政も金網柵等に対する補助や猟友会の皆さんのご苦勞に報いるための支援等

を行いたいと考えています。



防護柵

■その他の質問項目

- ・BDF（バイオエネルギー）